

大阪医科大学学報

第38号 平成10年11月



病院5・6号館

◆目

学債の募集について	2～5
規程の改正	6～7
教授候補者の公募について	8
人事 〔法人、採用、退職、昇任・異動〕 〔休職・復職、委嘱・解嘱、海外渡航〕	9～13
学位記授与	13
特別研究員の決定・科学研究費追加内定	14
平成11年度入試要項	15～18
第1回PA会開催について	19
公式ホームページ開設	20

次◆

医学会秋季学術講演会	21
国際交流の状況について	21
教室紹介	22～23
医学の散歩道	24
海外出張記	25
学内行事	26～28
会議・行事予定	29～30
附属病院関係	31
保健管理室からのお知らせ	32～34
俳句	35

学債の募集について

理事長 田 中 忠 彌

教職員を対象に学債の募集開始

二十一世紀を目前に、日本だけでなく世界的な経済不況が現在進行しつつあります。これと平行するように、本学を取りまく環境も、預金金利の低下、消費税の実質負担額の増加、医療収入・補助金収入の伸び悩み等たいへん厳しい状況になっております。

何よりも健全な財政基盤を確立することが、私立大学運営の根幹であり、本学では教育・医療環境のいっそうの向上を図るべく諸般の経営努力を続けております。その中核事業として、また創立70周年の記念として、現在病院新総合棟の建設計画を立案中であります。

病院新総合棟は収益性を重視した、高度な地域密着型の医療施設として建設する予定です。

その資金調達のため、昭和2年4月に開学以来70年余にして初めて、学債の募集を開始することになりました。

<次ページ以降、募集パンフレット内容掲載>

学債は、まず教職員（教員：助手以上，職員：主任以上）を対象に実施（平成10年11月開始）し、引き続き、仁泉会、学生保護者（PA会々員）の方々にもご協力をお願いしていく予定であります。

寄附金の募集も近日中に開始

本学では、学債の募集と前後して、寄附金の募集も近日中に開始する予定です。

[内 容]

募集目標額：5億円

募 集 対 象：学校法人大阪医科大学役員、評議員、教職員、非常勤講師、
仁泉会会員、学生保護者（PA会々員）
一般個人および法人・企業

1口の金額：個人 10万円、法人（企業） 50万円

（1口未満の金額でもお受けいたします）

なお、寄附金では減免税措置として、特定公益増進法人および日本私立学校振興・共済事業団の受配者指定寄附金（申請準備中）による、所得税法並びに法人税法等の規程により、免税措置の適用を受けることができます。

学債と寄附金は選択可能

学債および寄附金の募集は、あくまでも任意にご協力をお願いするものであります。

学債および寄附金の募集につきましては、どちらをご選択いただいても結構です。

大阪医科大学の未来は、役員、教職員、非常勤講師、仁泉会、学生保護者（PA会々員）等関係する人々が丸一となって協力し合うことにより、大きく発展していくと確信しております。

どうか、これら主旨をご理解いただき、広くご協力賜りますよう心からお願い申し上げます。

学債募集についてお願い

殿

謹啓 時下、貴殿におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は本法人のために多大のご尽力をいただき心よりお礼申し上げます。

本学は、昭和2年4月開学以来70年余にわたり、教職員、同窓、学生保護者等関係各方面の暖かいご支援を得て約7400名の卒業生を社会に送りだし、その足跡は高い評価を受け、今日では私立医科大学の雄としての地位を築くに至りました。

皆様ご高承のとおり、今日の科学技術の発展は目覚ましく、医療技術は広い学問分野の発達を基盤として急速に進歩しております。このような進展に対応した医学教育・研究及び診療を行い長寿社会、少子化社会の期待に的確に対応するためには、施設設備の改善、学生の教育環境の充実、教職員の労働条件の向上等多大の資金を要する課題が本学には山積しております。

しかしながら、現在本学を取り巻く財政状況は、預金金利の低下、消費税の施行による消費税実質負担額の増加、薬価差益の減少、人件費、公共料金等諸経費の高騰等により年々きびしくなっております。

もとより、法人といたしましても、財政を健全なものとし、百周年に向けて一層の飛躍をするための諸施策を積極的に検討中であります。その一環としまして、このたび附属病院新総合棟を建築することに致しました。

建築費用は総額で約50億円ですが、その内10億円を皆様方からの学債による借入で賄う所存であります。

何卒以上の趣旨をご理解賜りまして、学債募集にご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、学債は1口50万円ですが、貴殿には _____ 口をお願いできれば幸いに存じます。

敬 具



平成10年11月

学校法人 大阪医科大学
理事長 田 中 忠 彌

学債募集条件等について

名 称	学校法人 大阪医科大学学校債
募 集 目 的	附属病院新総合棟建築のため
借 入 期 間	5年又は10年の2種類とします。 なるべく10年もののお申込みをお願い致します。
募 集 目 標 額	10億円
募 集 対 象 者	本法人役員及び評議員・教職員
債 券 の 金 額	1口 50万円
元 利 金 償 還 方 法	平成11年2月22日から5年又は10年目の応答日に、 学債本券と引き替えに、元利金とも一括返済致します。
利 息	5年もの：年 0.1 % (単利計算) 10年もの：年 0.2 % (単利計算)
そ の 他 の 約 定	・質入、譲渡、その他担保に供することはできません。 ・中途解約は、やむをえない場合を除き一切できません。 ・元利金返済時に、寄付への切替の要請は致しません。

学債の申込み方法について

1. 学債のお申込みにつきましては、同封の予約申込書に、必要事項を記入の上、下記の期間内に事業推進室にご持参又はご送付をお願い致します。

尚、予約された方については、後日正式の学債申込書をご送付致します。

平成10年11月10日（火）～ 平成10年12月31日（木）

2. 申込金のお振込につきましては、正式の学債申込書を提出していただくと同時に、同封の振込用紙をもって、下記の要領にて、お振込みをお願い致します。（送金手数料につきましては、誠に恐縮ではございますが、ご負担願いますようお願い申し上げます。）

尚、振込金受取書は、預り証に替えさせていただきますので、学債本券が届くまで大切に保管下さい。

お 振 込 期 間	平成11年1月18日（月）～ 平成11年2月19日（金）
振 込 銀 行	三井信託銀行 大阪支店
受 取 人 名 称	学校法人 大阪医科大学 学債口
口 座 番 号	（普通預金） NO. 7 6 2 8 3 2 7

学債とは何か

1. 目 的

学債は、通常学校法人が校舎・図書館・体育館建設などの大型事業を実施する場合の資金調達の方法として発行するものです。特に医科大学の施設の充実のためには多額の資金を必要としますので、学債は、多くの私立大学で寄付金とともに重要な財源として活用されております。

2. 性質

学債は、教職員・卒業生・学生の保護者等限られた範囲内のものからの借入金です。

普通、借入を証明する債券を発行しますので株式などの有価証券と混同されがちですが、他人に譲り渡したり、質入ができない点で有価証券と異なります。

また、借入期間を経過すると必ず返済されますので、寄付金とは異なり税法上の特典はありません。

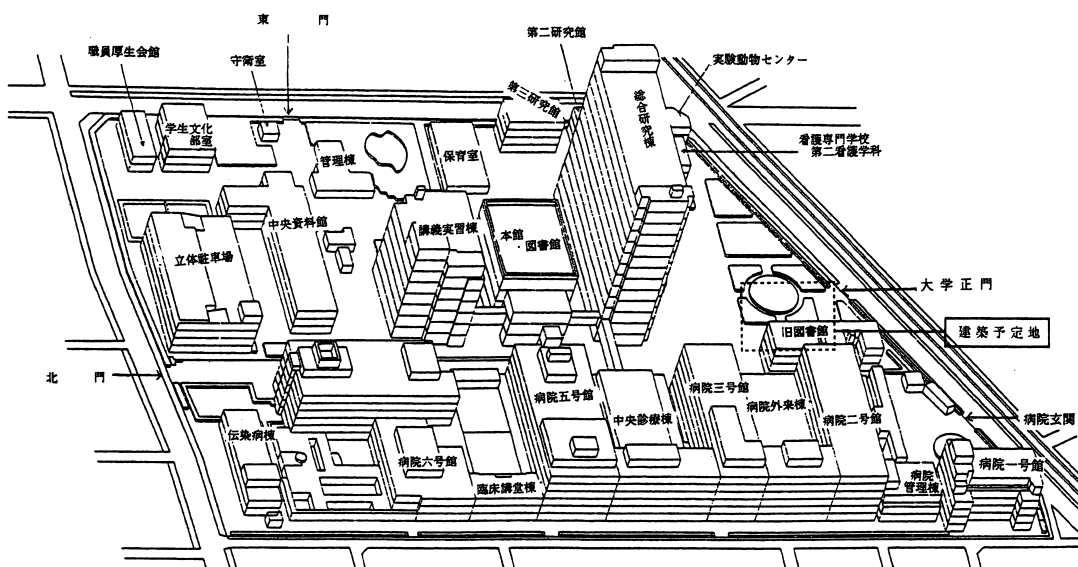
3. 法的関係

不特定多数の者から出資金及び預り金を受け入れることは、出資取締法によって、銀行等許可された金融機関以外は禁止されていますが、学債は、不特定多数の者を対象とするものではなく、教職員・卒業生・学生の保護者など限られた範囲内の者に対する借入金の申し込みです。

そのため、借入条件としての募集目的、募集目標額、募集対象、利息及び借入期間等の借入条件、債券の金額、学債の形式、償還方法などの条件が明示されています。

(参考) 大阪医科大学附属病院新総合棟検討素案

この素案を基に建築計画推進委員会で具体的な検討が進められています。



大阪医科大学校内建物配置図

学債関連についての、お問い合わせは下記事業推進室までお願い致します。

住 所	大阪府高槻市大学町2番7号
電 話	責任者 多田 数義 0726-83-1221 (内線) 2612 責任者 坂本 詔志 0726-83-1221 (内線) 2613
F A X	0726-81-3723

学則の一部改正について

大阪医科大学学則の第36条第1項が、次のとおり一部改正されました。

(関係条文新旧対照表)

新							旧						
第七章 授業料その他の納入金 (授業料その他の納入金) 第36条 授業料その他の納入金、及び納入期限は、次のとおりとする。 (第一学年次)							第七章 授業料その他の納入金 (授業料その他の納入金) 第36条 授業料その他の納入金、及び納入期限は、次のとおりとする。 (第一学年次)						
期間	納入期限	納入金額				計	期間	納入期限	納入金額				計
		授業料	実習料	施設拡充費				授業料	実習料	施設拡充費			
第1期	入学時	58万円	11万円	39万円	108万円	第1期	入学時	55万円	11万円	37万円	103万円		
第2期	9月15日	58万円	11万円	39万円	108万円	第2期	9月15日	55万円	11万円	37万円	103万円		
第3期	1月15日	56万円	11万円	37万円	104万円	第3期	1月15日	54万円	10万円	36万円	100万円		
合計		172万円	33万円	115万円	320万円	合計		164万円	32万円	110万円	306万円		
(第二学年次以降)							(第二学年次以降)						
期間	納入期限	納入金額				計	期間	納入期限	納入金額				計
		授業料	実習料	施設拡充費	教育充実費			授業料	実習料	施設拡充費	教育充実費		
第1期	4月15日	58万円	11万円	39万円	90万円	198万円	第1期	4月15日	55万円	11万円	37万円	90万円	193万円
第2期	9月15日	58万円	11万円	39万円	\	108万円	第2期	9月15日	55万円	11万円	37万円	\	103万円
第3期	1月15日	56万円	11万円	37万円	\	104万円	第3期	1月15日	54万円	10万円	36万円	\	100万円
合計		172万円	33万円	115万円	90万円	410万円	合計		164万円	32万円	110万円	90万円	396万円
2							2						
1							1						
2							2						
						(省略)							(省略)
3							3						
4							4						
附 則							附 則						
この改正は、平成11月4月1日から施行する。							この改正は、平成11月4月1日から施行する。						
但し、平成10年度以前から在学する者については、改正後の第36条の規定にかかわらず、なお従前の例による。							但し、平成10年度以前から在学する者については、改正後の第36条の規定にかかわらず、なお従前の例による。						

旅費支給規程の一部改正について

旅費支給規程第11条が平成10年11月1日から次のとおり改正されました。

(関係条文新旧対照表)

新	旧
<p>第11条 学会及び研修会講習会等並びに治験検討会議に出席する場合の旅費については、学会出張旅費特例及び研修会講習会等出張旅費特例並びに治験検討会議出張旅費特例に定めるものの外本規程各条を準用する。</p>	<p>第11条 学会及び研修会講習会等に出席する場合の旅費については、学会出張旅費特例及び研修会講習会等出張旅費特例に定めるものの外本規程各条を準用する。</p>

治験検討会議出張旅費特例

治験検討会議に出席する場合の旅費・宿泊費・日当等については、下記により支給する。

1. 支給対象となる出張は、治験責任医師等が治験打合せ会、中間検討及び症例報告の研究会に出席するため等治験関係のみとする。
2. 当該出張により予定外の出費が生じたときは、領収書等の証拠書類を添えて請求するものとする。
3. 日当については、距離の遠近にかかわらず支給する。

職名区分	交通費		宿泊費	日当
	鉄道賃	船賃		
教授	乗車券、グリーン車、特・急行券	1等	20,000円	5,000円
助教授	乗車券、グリーン車、特・急行券	1等	17,000円	4,000円
講師	乗車券、特・急行券	2等	15,000円	3,000円
助手	乗車券、特・急行券	2等	13,000円	3,000円
その他	乗車券、特・急行券	2等	13,000円	3,000円

教授候補者の公募について

<眼科学講座担当教授候補者応募要項>

応募の方法は自薦または他薦によります。

(別紙 本学教授選考規程第6条参照)

1) 提出書類(同封の用紙を使用して下さい)

- ・履歴書(様式1)
- ・研究業績目録(様式2)
- ・主要業績(主要論文5編、別刷各5部)
(コピーでも可)

・臨床・教育・研究活動の概要および将来の抱負を2000字程度(様式随意、A4用紙<縦>横書)にまとめて下さい。

なお、①臨床については過去3年間に術者または指導者として関わった手術ならびに検査・治療の種類とその件数を臨床実績一覧表(別紙1)に記入して下さい。また、代表10症例の手術記録(写)プライバシーに係わる項目を抹消し、添付して下さい。

②教育については過去3年間に医学部医学科・医学研究科および医学部医学科以外で行った教育歴ならびに、教育に関する行事への参加実績を教育業績一覧表(別紙2)に記入して下さい。

・他薦の場合は、推薦者(様式3)および本人の同意書(様式随意、A4用紙)を添付して下さい。

- 2) 締切期日 平成10年12月14日(月)必着
- 3) 提出先 大阪府高槻市大学町2番7号
(〒569-8686)

大阪医科大学総務部庶務課気付

眼科学講座担当教授選考委員会

(0726-83-1221代)

提出書類は、封筒の表に「眼科学講座担当教授応募書類在中」と朱書きし、郵送の場合は書留便として下さい。

添付書類 ・本学教授選考規程(抜粋)

- ・履歴書 所定形式
- ・業績目録 所定形式
- ・推薦書 所定形式
- ・臨床実績一覧表 所定形式
- ・教育業績一覧表 所定形式

附記：選考の過程で、選考委員会が応募者の方とお会いする機会を持ちたいと存じます。



人 事

〔法 人〕

再 任

理 事 藤本 正三 7. 1
 “ 平井 博 “

〔採 用〕

助 手 坂口 仁志 (眼 科 学) 8. 1
 “ 池田 進 (耳鼻咽喉科学) “
 “ 東川 雅彦 (“) “
 “ 日下 守 (泌尿器科学) “
 事 務 員 村上 公子 (図 書 館) “
 技 術 員 春野 玲弥 (輸 血 室) 8.16
 助 手 森脇 恵太 (脳神経外科学) 9. 1
 “ 池田 篤 (産婦人科学) 9.16
 “ 金 信行 (“) “
 “ 土肥美和子 (放射線医学) 10. 1
 看 護 婦 岡本恵利香 (病院看護部) “
 “ 井出百合子 (“) “
 看護補助員 小林みつ子 (“) 10.16
 助 手 折野 一郎 (産婦人科学) 11. 1

〔退 職〕

技 術 員 合谷 尚子 (輸 血 室) 7. 5
 看 護 婦 二澤 早苗 (病院看護部) 7.11
 技 術 員 藤原 祝子 (輸 血 室) 7.16
 “ 森山 麻美 (“) 7.17
 学内講師 兜坂 法文 (眼 科 学) 7.31
 助 手 埜 力也 (耳鼻咽喉科学) “
 “ 萩森 伸一 (“) “
 技 術 員 中埜 まゆ (病院薬剤部) “
 看 護 婦 清水 慶子 (病院看護部) “
 “ 山中 千春 (“) “
 技 術 員 矢守 好美 (輸 血 室) 8. 4
 看 護 婦 清原 幸恵 (病院看護部) 8.14
 “ 熊丸かおり (“) 8.25
 助 教 授 吉原 良浩 (生化学領域) 8.31
 学内講師 梁 壽男 (一般・消化器外科学) “
 助 手 藤野 優子 (解剖学Ⅰ) “
 “ 近藤 進 (脳神経外科学) “
 事 務 員 井口 彰子 (法 医 学) “
 技 術 員 堀井 久美 (病院事務部
 栄養給食課) “
 看 護 婦 岡田 由加 (病院看護部) “
 “ 東 美里 (“) “
 “ 谷 晴美 (“) “
 “ 山田 明美 (“) “

看 護 婦 楠木 昭江 (病院看護部) 9. 8
 助 手 奥田 弘賢 (産婦人科学) 9.15
 “ 坂井 昌弘 (“) “
 技 術 員 吉成 仁郎 (病院薬剤部) “
 講 師 松井 律夫 (放射線医学) 9.30
 助 手 藤井 敬三 (一般・消化器外科学) “
 技 術 員 藤川麻里子 (病院事務部
 栄養給食課) “
 看 護 婦 古川 知美 (病院看護部) “
 看護補助員 小川 一子 (“) “
 事 務 員 磯崎 由香 (病院事務部
 医事第二課) 10.15
 技 術 員 小椋智津子 (輸 血 室) 10.20
 “ 春野 玲弥 (“) “
 助 手 神田 宏治 (産婦人科学) 10.31
 看 護 婦 箕嶋 美知 (病院看護部) “

〔昇任・異動〕

神経精神医学 黒田 健治 (講 師) 7.16
 助 教 授 医学情報処理 センター 講師 山本 大助 (助 手) 8. 1
 一般・消化器 石橋 孝嗣 (学内講師) “
 外科学講師 “ 豊田 昌夫 (“) “
 内 視 鏡 室 田上 奉枝 (内 視 鏡 室)
 技 術 員 技術補助員 9. 1
 神経精神医学 瀬尾 崇 (学内講師) 9.16
 講 師 胸部外科学 長谷川滋人 (“) 10. 1
 講 師 病院事務部管理 平野 勝 (病院事務部長
 課長兼務を解く 兼管理課長) “
 財務部会計課長 楠 善行 (財務部会計課長
 代理兼経理課長代理) “
 経理課長代理兼務を解く 吉間 正男 (病院事務部
 管理課長代理) “
 病院事務部 絹見 紀一 (附属看護専門学校
 事務長代理) “
 管理課長 総務部企画室長 久保 克己 (総務部企画室長
 代理兼庶務課長補佐) “
 総務部庶務課 門田 雅人 (総務部庶務
 課長代理 課長補佐) “
 財務部経理課 大槻 哲彦 (財務部経理
 課長代理 課長補佐) “
 病院事務部 桐山 賢良 (病院事務部
 医事第一課 課長代理 医事第一課長補佐) “
 “ 出坂 秀雄 (“) “
 病院事務部施設課 中村 節也 (病院事務部施設課
 課長代理(汽笛担当) 課長補佐) “

病院医療情報部 課長代理	井関 隆 (病院医療情報部 課長補佐)	10. 1
総務部庶務課 課長補佐	段野 利衛 (総務部庶務課主任)	〃
〃	藤永 孝 (財務部会計課主任 兼病院医療情報部)	〃
病院事務部 医事第二課課長補佐	津田 正博 (病院事務部医事 第二課会計主任)	〃
病院事務部 医事第一課課長補佐	小篠 明 (総務部庶務 課長補佐)	〃
病院事務部 医事第二課課長補佐	藤川 光昭 (財務部会計 課長補佐)	〃
病院事務部施設課 課長補佐(汽缶担当)	尻江 達雄 (病院事務部施設課 主任)	〃
病院事務部施設課 課長補佐(電気担当)	平井 実 (〃)	〃
病院医療情報部 課長補佐	木村 正士 (病院医療情報部主任兼 病院事務部医事第一課)	〃
病院輸血室 技師長補佐	志摩 美緒 (病院輸血室 技術主任)	〃
総務部庶務課主任 企画室付兼務を解く	中尾 基克 (総務部庶務課管財 主任兼企画室付)	〃
総務部庶務課主任	尾上千鶴子 (総務部庶務課事務員)	〃
財務部会計課主任	小林 悦子 (財務部会計課事務員)	〃
病院事務部 管理課主任	岩橋 朗 (病院事務部管理課 事務員)	〃
病院事務部施設課 主任(汽缶担当)	井上 博善 (病院事務部施設課 技能員)	〃
病院事務部付 医事第二課勤務	伊賀 敏勝 (病院事務部 医事第二課長補佐)	〃
病院医療情報部 助 教授	山本 隆一 (講 師)	11. 1

〔休職・復職〕

(休 職)

講 師	塩田 直孝 (薬 理 学)	9. 1
助 手	瀬川 直樹 (泌尿器科学)	〃
講 師	植田 政嗣 (産婦人科学)	10. 1
〃	山口 淳 (リハビリテーション学)	10.23

(復 職)

助 手	山下 能毅 (産婦人科学)	9. 1
-----	---------------	------

〔委嘱・解嘱〕

(委 嘱)

客員教授	森田 邦夫	9.16
	糸川 嘉則	10. 1
	望月 真人	11. 1

外国人教員

	李 忠連	10. 1
--	------	-------

学内講師

助 手	西村 光 (内科学Ⅲ)	8. 1
外国人教員	李 忠連 (解剖学Ⅰ)	10. 1
助 手	東川 雅彦 (耳鼻咽喉科学)	〃
〃	鶴長 建充 (産婦人科学)	〃
〃	橋口 範弘 (口腔外科学)	〃
〃	岸川 匡彦 (病態検査学)	〃

保健管理室副室長

診療助教授	石原 正 (内科学Ⅰ)	7.24
-------	-------------	------

保健管理室運営委員会委員長

保健管理室長 教 授	千原精志郎 (心 理 学)	7.24
---------------	---------------	------

保健管理室運営委員会委員

教 授	芝山 雄老 (病理学Ⅰ)	7.24
〃	勝 健一 (内科学Ⅱ)	〃
〃	米田 博 (神経精神医学)	〃
助 教授	竹田 喜信 (内科学Ⅱ)	〃
〃	北浦 泰 (内科学Ⅲ)	〃
診療助教授	石原 正 (内科学Ⅰ)	〃
講 師	北岡 治子 (〃)	〃
看護副部長	神谷美佐子 (病院看護部)	〃
課 長	成松 正治 (庶 務 課)	〃
教 務 課 長	橋本 豊子 (附属看護専門学校)	〃
看護婦長代理	平野しみず (保健管理室)	〃

平成9年度・10年度機器共同利用センター運営委員会委員

学内講師	高井 真司 (薬 理 学)	9. 1
助 手	小森 剛 (放射線医学)	10. 1

治験審査委員会委員

教 授	宮崎 瑞夫 (薬 理 学)	10. 1
〃	大澤 伸昭 (内科学Ⅰ)	〃
〃	勝 健一 (内科学Ⅱ)	〃
〃	島原 政司 (口腔外科学)	〃
事務局長	多田 数義 (事 務 局)	〃
事務局次長 兼看護部長	勢川瑠美子 (〃)	〃
薬 剂 部 長	伊藤 博 (病院薬剤部)	〃
	中村 幸市	〃

基金活動実務委員会委員長

教 授	植木 實 (産婦人科学)	10. 1
-----	--------------	-------

基金活動実務委員会委員

学生部長 教 授	島田 真久 (解剖学Ⅱ)	10. 1
附属病院長 教 授	佐々木進次郎 (胸部外科学)	〃

図書館長	清金 公裕 (皮膚科学)	10. 1	学内講師	本合 泰 (内科学Ⅱ)	10.14
教授	千原精志郎 (心理学)	〃	〃	片山 博視 (小児科学)	〃
〃	大槻 勝紀 (解剖学Ⅰ)	〃	助手	左古 昌蔵 (一般・消化器外科学)	〃
〃	鏡山 博行 (医化学)	〃	〃	出口 潤 (脳神経外科学)	〃
〃	河野 公一 (衛生学・公衆衛生学)	〃	専攻医	成山 仁 (内科学Ⅰ)	〃
〃	米田 博 (神経精神医学)	〃	〃	鈴木 秀治 (内科学Ⅲ)	〃
〃	玉井 浩 (小児科学)	〃	看護副部長	小林千恵子 (病院看護部)	〃
〃	谷川 允彦 (一般・消化器外科学)	〃	課長	西川 昭 (病院事務部 医事第一課)	〃
〃	阿部 宗昭 (整形外科)	〃	〃	稲葉 護 (病院事務部 医事第二課)	〃
〃	竹中 洋 (耳鼻咽喉科学)	〃	課長補佐	権藤 眞治 (病院事務部 用度課)	〃
〃	植林 勇 (放射線医学)	〃	技師長補佐	手塚 好博 (放射線科)	〃
助教授	高松 順太 (内科学Ⅰ)	〃	〃	岡山 勝良 (〃)	〃
事務局長	多田 數義 (事務局)	〃	〃	濱田 松治 (〃)	〃
事務局次長 兼看護部長	勢川瑠美子 (〃)	〃	主任	松岡 道弘 (病院看護部)	〃
部長	平野 勝 (病院事務部)	〃	薬剤部問題検討委員会委員長		
〃	伊藤 博 (病院薬剤部)	〃	副院長	清水 章 (病態検査学)	11. 1
部長代理	坂本 詔志 (総務部)	〃	教授	清水 章 (病態検査学)	11. 1
主任健康管理医兼主任衛生管理者			薬剤部問題検討委員会委員		
衛生委員会委員			教授	谷川 允彦 (一般・消化器外科学)	11. 1
放射線安全委員会委員			〃	米田 博 (神経精神医学)	〃
診療助教授	石原 正 (内科学Ⅰ)	10. 1	助教授	北浦 泰 (内科学Ⅲ)	〃
健康管理医兼衛生管理者			事務局次長 兼看護部長	勢川瑠美子 (事務局)	〃
講師	北岡 治子 (内科学Ⅰ)	10. 1	部長	平野 勝 (病院事務部)	〃
眼科学講座担当教授選考委員会委員			課長	竹村喜一郎 (病院薬剤部 薬務管理課)	〃
教授	谷川 允彦 (一般・消化器外科学)	10. 7	(解 嘱)		
〃	太田 富雄 (脳神経外科学)	〃	平成9年度・10年度機器共同利用センター運営委員会委員		
〃	清金 公裕 (皮膚科学)	〃	講師	塩田 直孝 (薬理学)	8.31
〃	竹中 洋 (耳鼻咽喉科学)	〃	主任健康管理医兼主任衛生管理者		
〃	田嶋 定夫 (形成外科学)	〃	保健管理室運営委員会委員		
助教授	木下 光雄 (整形外科)	〃	衛生委員会委員		
診療助教授	中島 正之 (眼科学)	〃	放射線安全委員会委員		
講師	竹内 栄一 (脳神経外科学)	〃	講師	北岡 治子 (内科学Ⅰ)	9.30
〃	濱田 潤 (眼科学)	〃	基金設置委員会委員長		
助手	清水 一弘 (〃)	〃	教授	植木 實 (産婦人科学)	10.15
〃	岩尾 憲明 (附属病院)	〃	基金設置委員会委員		
眼科学講座担当教授選考委員会委員長			教授	大槻 勝紀 (解剖学Ⅰ)	10.15
教授	竹中 洋 (耳鼻咽喉科学)	10.21	〃	河野 公一 (衛生学・公衆衛生学)	〃
カテーテル (血管造影) 検討委員会委員長			〃	竹中 洋 (耳鼻咽喉科学)	〃
医療材料に関する 小委員会委員長	谷川 允彦 (一般・消化器外科学)	10.14	〃	玉井 浩 (小児科学)	〃
教授	〃	〃	〃	米田 博 (神経精神医学)	〃
カテーテル (血管造影) 検討委員会委員			助教授	高松 順太 (内科学Ⅰ)	〃
助教授	清水 雅史 (放射線医学)	10.14	事務局長	多田 數義 (事務局)	〃
講師	長谷川滋人 (胸部外科学)	〃			

事務局次長 勢川瑠美子 (事務局) 10.15
 兼看護部長
 部長 平野 勝 (病院事務局) 〃
 〃 伊藤 博 (病院薬剤部) 〃
 課長代理 大槻 哲彦 (財務部経理課) 〃

〔海外渡航〕

上田 晃一 (形成外科学講師)
 カナダ、イギリス 7.17 ~ 7.23
 内海 隆 (眼科学助教授)
 アイルランド (ダブリン) 7.18 ~ 7.24
 宮崎 瑞夫 (薬理学教授)
 ドイツ (ミュンヘン) 7.25 ~ 8. 3
 石井 誠志 (生化学領域助手)
 アメリカ (サンディエゴ) 7.25 ~ 8. 4
 木村 澄子 (解剖学Ⅱ助手)
 アメリカ (ウィリアムスバーク) 7.25 ~ 7.30
 茶谷 薫 (解剖学Ⅰ助手)
 ケニア (ナイロビ他) 8. 1 ~ 8.31
 吉田龍太郎 (生理学Ⅱ助教授)
 アメリカ (ロードアイランド) 8. 2 ~ 8.13
 清水 章 (病態検査学教授)
 アメリカ (ミネソタ) 8. 2 ~ 8.13
 岸川 匡彦 (病態検査学学内講師)
 アメリカ (ミネソタ) 8. 7 ~ 8.13
 栗本 宗治 (中央手術部助教授)
 イギリス (ロンドン他) 8.17 ~ 8.28
 山本 隆一 (病院医療情報部講師)
 韓国 (ソウル) 8.18 ~ 8.22
 石原 正 (第一内科診療助教授)
 オーストリア (ウィーン) 8.22 ~ 8.28
 河野 公一 (衛生学・公衆衛生学教授)
 白田 寛 (〃 助手)
 アメリカ (ベリングアム) 8.24 ~ 8.30
 瀬本 喜啓 (整形外科診療助教授)
 中国 (北京) 8.24 ~ 8.30
 松井 律夫 (放射線医学講師)
 ドイツ (ベルリン) 8.28 ~ 9. 6
 宇都宮啓太 (放射線医学助手)
 ドイツ、デンマーク 8.28 ~ 9. 7
 大澤 伸昭 (内科学Ⅰ教授)
 オーストラリア (アデレード) 8.29 ~ 8.31
 榎林 勇 (放射線医学教授)
 末吉 公三 (〃 助教授)
 ドイツ (ベルリン) 8.30 ~ 9. 8

杉野 正一 (内科学Ⅰ講師)
 オーストラリア (アデレート) 8.30 ~ 9. 6
 梅垣 英次 (内科学Ⅱ助手)
 オーストリア (ウィーン) 9. 4 ~ 9.16
 江村 成就 (神経精神医学助手)
 スペイン (マドリード) 9. 5 ~ 9.14
 田中 嘉雄 (形成外科学助教授)
 イギリス (グラスゴー) 9. 6 ~ 9.15
 阿部 宗昭 (整形外科学教授)
 フランス (リヨン) 9.13 ~ 9.20
 瀬本 喜啓 (整形外科診療助教授)
 フランス (リヨン) 9.14 ~ 9.23
 河野 公一 (衛生学・公衆衛生学教授)
 オーストリア (ウィーン) 9.15 ~ 9.26
 白田 寛 (衛生学・公衆衛生学助手)
 オーストリア (ウィーン) 9.15 ~ 10. 3
 渡邊 一三 (一般・消化器外科学助手)
 スペイン (マドリード) 9.15 ~ 9.23
 木下 光雄 (整形外科学助教授)
 イタリア、フランス 9.15 ~ 10. 2
 左古 昌蔵 (一般・消化器外科学助手)
 原 均 (〃 〃)
 スペイン (マドリード) 9.15 ~ 9.23
 小坂 理也 (整形外科学助手)
 アメリカ (ニューヨーク他) 9.16 ~ 9.27
 岡本 雅雄 (整形外科学助手)
 フランス (ニース他) 9.16 ~ 12.10
 土手友太郎 (衛生学・公衆衛生学講師)
 織田 行雄 (〃 〃)
 韓国 (ソウル) 9.22 ~ 9.26
 澤田 吉英 (胸部外科学学内講師)
 フランス (パリ) 9.23 ~ 10. 1
 中張 隆司 (生理学Ⅰ講師)
 オーストラリア (ブリスベン他) 9.26 ~ 9.30
 浅井 一視 (生物学講師)
 オーストラリア (パース) 9.27 ~ 10. 9
 日外 知行 (ICU助手)
 アメリカ (サンタモニカ) 10. 2 ~ 10.12
 米田 博 (神経精神医学教授)
 稲田 泰之 (〃 助手)
 堺 潤 (〃 〃)
 ドイツ (ボン) 10. 6 ~ 10.12
 康 純 (神経精神医学助手)
 ドイツ (ボン他) 10. 6 ~ 10.19

畑中 道代 (病態検査学内講師)		田中 英高 (小児科学助教授)	
ギリシャ (ロードス島)	10. 9 ~ 10.20	アメリカ (フロリダ州)	10.28 ~ 10.31
千原精志郎 (心理学教授)		〔留 学〕	
福嶋謙太郎 (神経精神医学助手)		塩田 直孝 (薬理学講師)	
ドイツ (ゲッティンゲン)	10.10 ~ 10.19	フィンランド (ヴィプーリ研究所)	10.9. 1~11.8.31
白井 久也 (整形外科学助手)		植田 正嗣 (産婦人科学講師)	
オランダ (ロッテルダム)	10.11 ~ 10.18	アメリカ (コロラド大学)	10.10. 1~11.9.30
土居 宗算 (整形外科学講師)		山口 淳 (リハビリテーション医学講師)	
スペイン (マドリード)	10.18 ~ 10.26	オーストラリア (シドニー大学)	10.23 ~ 11.12 延長
日下 守 (泌尿器科学助手)			
アメリカ (フィラデルフィア他)	10.25 ~ 10.30		

平成10年度 (第 I 回) 学位記授与

平成10年度第 I 回学位審査には、大学院医学研究科修了による者 1 名、論文提出による者 9 名の申請があり、所定の審査が行なわれました。

その結果、7月22日付をもって全員が合格し、7月27日(月)午後2時から学位記授与式が行われました。

番 号	氏 名	論 文 題 名
甲第564号	森 口 知 則	抗アレルギー薬トラニラストのアンジオテンシン II 作用抑制効果に関する研究
乙第792号	橋 口 範 弘	Mandibular Bone Mineral Density in Rats Fed with Low-Calcium Diets (低 Ca 飼料投与ラットにおける下顎骨の骨塩量の変化)
乙第793号	清 水 一 弘	エンドセリン-1 の眼圧、房水動態におよぼす影響
乙第794号	時 岡 聡	<i>Helicobacter pylori</i> 感染に関する ¹³ C-尿素呼気試験を用いた疫学調査
乙第795号	松 本 太一三	胃粘膜防御機構における一酸化窒素 (NO) の関与
乙第796号	平 井 景	Pituitary-dependent expression of the testicular angiotensin II receptor and its subtypes in rats (ラット精巣内アンジオテンシン II 受容体発現に及ぼす性腺刺激ホルモンの影響)
乙第797号	森 龍 彦	Cardioprotective effects of quinapril after myocardial infarction in hypertensive rats (高血圧ラットの心筋梗塞に対するキナプリルの心臓保護効果について)
乙第798号	田 中 康 敬	Multishot Echo-planar Imaging による MR T2 強調画像の肝腫瘤性病変における有用性に関する研究
乙第799号	在 田 理 香	Quantitative Differentiation of Both Free 3'-OH and 5'-OH DNA Ends Between Heat-Induced Apoptosis and Necrosis (熱ショックにより誘導されたアポトーシスとネクロシスにおける 3'-OH と 5'-OH DNA 断端の定量的検討)
乙第800号	森 松 幸 子	アセチルコリンとイソプロテレノールによるラット顎下腺腺房細胞からの開口放出

特別研究員の決定について

〔日本学術振興会〕

決 定 の 内 容	所 属 ・ 職 ・ 氏 名
平成10年度日本学術振興会外国人特別研究員 (国内募集分) 第2次	病 態 検 査 学 教 授 ・ 清 水 章

平成10年度 科学研究費補助金配分内定(追加採択分)について

〔研究課題番号順〕

(単位：千円)

研究種目 審査区分	研 究 課 題	研 代 表 究 者	交 付 内 定 額
基盤(C) (一般)	食事成分由来の腸管内物質、特に脂肪酸の腸粘膜バリアー機構におよぼす影響	第2内科学・講師 齊 藤 治	500
〃 〃	膵癌、肝癌のアポトーシスと血管新生の増殖・転移、及び予後への関与の解明	一般・消化器外科・講師 森 田 眞 照	1,600
〃 〃	凍結保存血管の viability の評価と移植後免疫反応	胸部外科学・教授 佐々木 進次郎	1,400
〃 〃	脳動脈瘤の治療に関する血行力学的検討 —流体モデルによる模擬実験—	脳神経外科学・助教授 長 澤 史 朗	1,900
〃 〃	ヒト卵膜におけるアポトーシス	第1解剖学・教授 大 槻 勝 紀	1,400
合 計 5 件			6,800



—— 平成11年度入学試験要項（概要） ——

平成11年度大学医学部・大学院医学研究科・看護専門学校、それぞれの入学試験要項が決定いたしましたのでその概要をお知らせします。

I) 医学部・医学科

1) 入学願書受付期間

平成11年1月5日（火）～2月1日（月）必着のこと

2) 学科試験日および試験科目

月 日（曜）	時 間	教 科	科 目（出 題 範 囲）
2月10日（水）	9：30～11：10 (100分)	数 学	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C 数Aの科目中、平面幾何・計算とコンピュータを除く 数Bの科目中、算法とコンピュータを除く 数Cの科目中、数値計算・統計処理を除く
	12：30～14：30 (120分)	理 科	「物B・物Ⅱ」・「化B・化Ⅱ」・「生B・生Ⅱ」 の3区分中、2区分選択
	15：30～16：50 (80分)	外国語	英Ⅱ・リーディング・ライティング

3) 試験場

関西大学・千里山キャンパス第3学舎（社会学部）（大阪府吹田市千里山）

4) 学科試験合格者発表

2月19日（金）午後4時 本学構内に掲示するとともに、出願者全員に対して、電子郵便で「学科試験合格者受験番号一覧表」を送付する。

5) 面接試験・小論文及び健康診断

2月23日（火）午前8時20分（学科試験合格者について実施する）

6) 合格者発表

2月24日（水）午後5時、合格者を本学構内に掲示し、本人宛（保護者現住所）にも合格通知書並びに入学に関する手続書類を送付する。

7) 入学検定料 50,000円

8) 納 入 金

項 目	初 年 度 納 入 金			2 年 次 以 降 納 入 金（年 額）
	第 1 期（入学手続時）	第 2 期（9月15日）	第 3 期（1月15日）	
入 学 金	1,000,000 円			
授 業 料	580,000 円	580,000 円	560,000 円	1,720,000 円
実 習 料	110,000 円	110,000 円	110,000 円	330,000 円
施設拡充費	390,000 円	390,000 円	370,000 円	1,150,000 円
教育充実費	5,000,000 円			900,000 円
合 計	7,080,000 円	1,080,000 円	1,040,000 円	4,100,000 円

★入学手続完了者で3月19日（金）正午までに本学所定の書面により入学辞退を申し出た場合、入学金以外の納入金を返還する。

（註）

1) 入学手続時に、PA会（保護者会）会費（年額100,000円）のうち第1期分50,000円及び学友会入会金 5,000円、学友会会費（年会費）10,000円をそれぞれ委託徴収する。

II) 大学院・医学研究科

1) 入学願書受付期間

平成11年1月4日（月）～1月18日（月）（必着）

2) 入学試験日時、試験科目及び試験場

月 日(曜)	時 間	試 験 科 目	試 験 場
2月4日(木)	9:30～11:30	外 国 語	本 学
	12:30～13:30	健康診断	
	13:30～16:00	面 接	
2月5日(金)	14:00～16:30	専攻科目	

3) 合格発表

平成11年3月11日（木）午前9時本学内に掲示すると共に本人宛にも通知する。

4) 入学検定料 30,000円

5) 納 付 金

項 目	初 年 度 納 付 金			2 年 次 以 降 納付金（年額）
	納 期	第 1 期（入学手続時）	第 2 期	
入 学 金		230,000 円		
授 業 料		200,000 円	200,000 円	200,000 円
実 習 料		70,000 円	70,000 円	60,000 円
合 計		500,000 円	270,000 円	260,000 円



Ⅲ) 看護専門学校

一般入学試験

学 科	第一看護学科 (三年課程)		第二看護学科 (二年課程 全日制)	
募集人員	約 25 名		約 30 名	
受験資格	1) 高等学校卒業のもの、又はそれと同等の資格を有する者 2) 本年度中に上記の資格取得見込みの者		1) 高等学校衛生看護科卒業及び卒業見込者 2) 高等学校を卒業し、准看護婦の資格を有する者 3) 准看護婦の免許を取得してから3年以上看護業務に従事している者	
	1 次 試 験	2 次 試 験	1 次 試 験	2 次 試 験
試験日時	平成11年1月31日(日) 9:00～15:30	平成11年2月2日(火) 8:00～	平成11年1月25日(月) 9:00～12:30	平成11年1月26日(火) 8:30～
試験科目	筆記試験 国語Ⅰ(漢文を除く) 数学Ⅰ(二次関数・ 図形と数量) 数学A(数と式) 生物ⅠB・化学ⅠBの うちいずれか1科目選択 英語Ⅱ 適性検査	身体検査 面 接	筆記試験 一般試験 数学Ⅰ(二次関数・ 図形と数量) 数学A(数と式) 英語Ⅰ 国語Ⅰ(漢文を除く) 専門科目(准看護婦課 程において履修した 科目) 適性検査	身体検査 面 接
試験場	高槻YMCA学院 高槻市八丁西町5番37号	大阪医科大学 高槻市大学町2番7号	高槻YMCA学院 高槻市八丁西町5番37号	大阪医科大学 高槻市大学町2番7号
合格発表	平成11年2月1日(月) 12:00	平成11年2月8日(月) 12:00 合否については本人宛 に郵送で通知する	平成11年1月26日(火) 8:00	平成11年1月30日(土) 12:00 最終合否については本人 宛に郵送で通知する
	いずれも大阪医科大学正門の掲示板に発表する			
受験料	20,000円			
受付期間	平成11年1月5日(火)～1月22日(金)消印有効 ※ 願書持参は平日9:00～16:30 (土曜、日曜、祝日を除く)		平成11年1月5日(火)～1月14日(木)消印有効 ※ 願書持参は平日9:00～16:30 (土曜、日曜、祝日を除く)	
学 費	入 学 金 150,000円 授 業 料 350,000円(年間) 実験実習料 50,000円(年間)			

推薦入学試験（指定高校制）

学 科	第一看護学科（三年課程）	第二看護学科（二年課程）
募 集 人 員	約 15 名	約 10 名
受 験 資 格	平成11年3月高等学校卒業見込者	平成11年3月高等学校（衛生看護科） 卒業見込者
推 薦 基 準	推薦者は1学校1名 1) 成績がA段階またはB段階であること。 2) 心身共健康で将来看護婦となるに適している者であること。 3) 専願で合格後は必ず入学すること。 4) 学校長の推薦があること。 5) 原則として卒業後本学附属病院に就職すること。	
試 験 日 時	平成10年11月12日（木）9：00～	
試 験 科 目	筆記試験 国語Ⅰ（漢文を除く）・小論文試験 面接試験 適性試験 身体検査	
試 験 場	大阪医科大学 高槻市大学町2番7号	
合 格 発 表	平成10年11月25日（水） 合格については学校に通知するとともに本人に通知する。	
受 験 料	20,000 円	
受 付 期 間	平成10年11月2日（月）～ 11月6日（金）消印有効 ※ 願書持参は平日9：00～16：30 （土曜、日曜、祝日を除く）	
学 費	入 学 金 150,000円 授 業 料 350,000円（年間） 実 験 実 習 料 50,000円（年間）	

第 1 回 P A 会 開 催 に つ い て

学生部長 島 田 眞 久

学生の保護者と大学との連携を密にし、学生の教育及び学生生活を援助しつつ大学の発展に寄与するため、本年度入学の学生の保護者を主体として PA (Parent Association) 会が発足しました。当初、新入生だけを対象に考えておりましたが、その他の学年でも、希望があれば加入を呼び掛けてみてはとの話があり、全学の保護者にもご案内申し上げましたところ、2年から6年までで、102名の保護者からの加入がありました。従って、202名の保護者よりなる PA 会として発足の運びとなりました。本会は、上記の目的を達成するため、次の事業を行うことになっております。

- 1) 学生の教育に関する援助
- 2) 学生の課外活動及び福利厚生に関する援助
- 3) 大学事業への協力
- 4) 大学及び会員相互の親睦
- 5) その他本会の目的達成に必要な事業

このうち、1) の学生の教育に関する援助を目的に、去る10月24日(土)午後1:00より、教育相談会を開催致しました。ご案内を上げましたところ丁度会員の半数にあたります101名の参加申し込みがありましたが、実際の参加者は84名でありました。PA 会に関しましては、先輩校であります関西医大を参考に万事遺漏なきよう準備をととのえたつもりですが、対応しました教員、職員も初めての事でもあり、なにかとご不自由をかけたかと思えます。今回を参考によりよい会の運営を目指したいと思えます。このような、会を催さなければならない社会的背景には少子化にともなう親の子への期待があります。従来は、保護者と大学の直接の接点は入学時と6年後の卒業時のみでありました。在学中、留年や出席常ならずで成績の悪い学生、交通事故など、問題を起こした学生の親のみが大学に呼び出されておりました。近年、入学式や卒業式には8割を越す学生の親、さらには、一部は祖父や祖母の方々がお出席されるようになり、保護者の子に対する期待が一段とたかまってきていることが大学当局にひしひしと感じられるようになってきました。これに答えるため、常日頃の学生の出席状況、成績程度、授業態度の状況さらには保護者からの相談等について直接お話しできる教育相談会を開催することになりました。先般、本学で開催されました私立医科大学教務事務研究会の懇談会の席で、各大学での保護者会の現状をお聞きました。ほとんどの大学では、やはり学生の教育相談が主体であるのに対し、順天堂大学では、本学では4)に当たります、会員相互の親睦が主で、ほとんどの親が医者であるため、むしろ医療の情報交換の場として利用されておられるようです。

公式ホームページ開設

大阪医科大学の公式ホームページが11月1日（日）から下記のホームページアドレス（URL）において運用を開始しました。

ホームページアドレス（URL） <http://www.osaka-med.ac.jp/OFFICE/>



Osaka Medical College Homepage

大阪医科大学ホームページ



- ご挨拶
- 大学の沿革
- 医学部医学科
- 大学院医学研究科
- 大学附属施設のご案内
- 大阪医科大学附属看護専門学校
- 入学試験情報
- キャンパスマップ
- 本学へのアクセス
- お知らせ

平成10年度 医学会秋季学術講演会

平成10年度秋季学術講演会が、下記のとおり開催されました。

日時 平成10年11月11日（水）午後2時30分～5時

場所 臨床第一講堂

〔特別講演〕

『チュートリアル教育導入の経緯について』

三重大学医学部 産科婦人科学教授

チュートリアル教育検討小委員会委員長

豊田 長 康

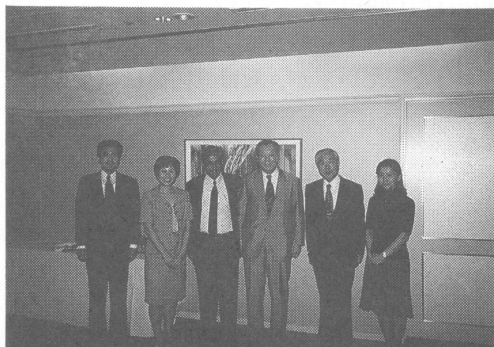


国際交流の状況について

中山国際医学医療交流センター

(1) インド国カワラティサラン国立 小児病院小児科部長来学

9月28日（月）、Dr. Ashok. Kumar DUTTA カワラティサラン（インド）国立小児病院小児科部長が本学を表敬訪問し、翌29日（火）にかけて、施設見学、小児科病対策などの研修を行いました。



(2) タイ国エイズ予防・地域ケアネット ワークカウンターパート研修

10月19日（月）から10月23日（金）まで、タイ国より Dr. Paiboon Thanakiasakul マエチャイ郡病院病院長をはじめとする3名が本学で研修を行いました。



タイ国エイズ予防・地域ケアネットワークカウンターパート研修日程表

10	19	月	10：00～センター長表敬（センターにて）学長、病院長表敬 午後：本学紹介、施設見学（高松委員）
	20	火	研修 病院情報管理Ⅰ（山本隆一講師）
	21	水	研修 午前：病院情報管理Ⅱ（山本隆一講師）
	22	木	研修 午前：院内感染対策（大澤センター長、福田泰樹助手）
	23	金	午前：個別研修（大澤センター長） 午後：全体総括（担当者全員）

教室紹介

第一内科学教室

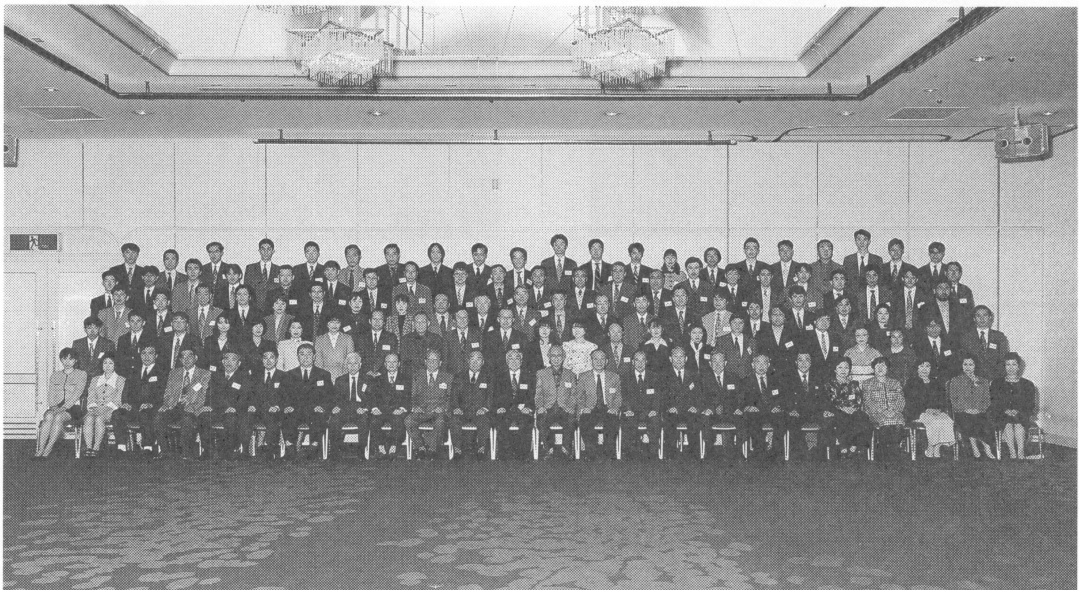
— 専門分化した内科学を高度なレベルで統合し、理想的な臨床内科学をめざす —

第一内科学教室は、旧満洲医科大学教授であった故原 享教授が、昭和24年初代教授として着任されて以来、昭和49年故茂在敏司教授、平成元年大澤仲昭教授へと引き継がれた、50年の歴史と伝統を有する教室である。同門会は「紫水会」と称し、昭和57年、原内科同門会と当時の第一内科同門会が合同して組織され、所属会員数は383名、毎年秋に総会が開催されている。(写真は昨年(2022年)の第16回総会)

教室の人員は年毎に充実し、大澤教授以下、福田市藏診療教授(脈管神経)、高松順太助教授(内分泌代謝)、石原正診療助教授(循環器、病棟医長)、篠田恵一講師(神経、学生教育)、北岡治子講師(内分泌代謝、外来医長)、杉野正一講師(神経)、関庚煒学内講師(呼吸器)、

坂根貞樹学内講師(内分泌代謝、医局長)、助手8名、学内専攻医30名、大学院生6名、研修医28名、研究生2名の計83名が、学内での診療、教育、研究に携わっている。また関連病院や研修施設への人員派遣にも積極的に取り組んでおり、副院長、内科部長以下7~11名の人員で医局を構成している5病院を含め、常勤医の派遣は24病院。海外留学(5名)、国内留学を含めて、在籍医局員数は総勢187名におよぶ。

大澤教授着任後、診療体制は数回にわたる組織変更がなされ、多くの専門領域を担当する内科に発展した。現在では、循環器、神経、内分泌代謝、呼吸器、肝臓、膠原病、血液の計7つの診療単位(ユニットと称する)に分かれて、各専門ユニットが各々予約制の専門外来と15~25床の病床を管理している。この他、漢方、脈管、心療内科の専門外来もあり、9診察室をフルに稼働し、外来患者数は平日約280名、入院病床は約120床になっている。各ユニットは専門性、独自性を発揮して、回診やカンファレンスを行なっているが、教授総回診は、全入院患



紫水会(同門会)

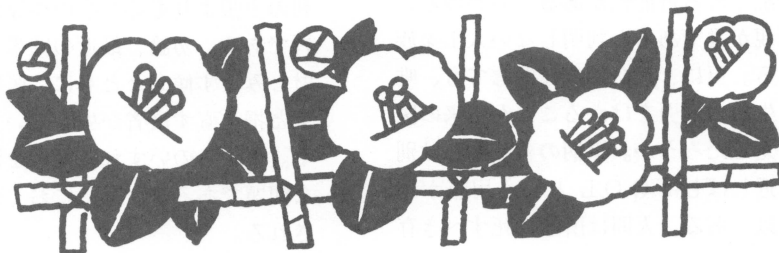
者を対象に、幅広い内科の知識や経験を総合した視点で行なわれ、原内科、茂在内科以来のオーソドックスな内科学の伝統を継承することを重視している。2年間の臨床研修は、上記7ユニットと三島救命救急センターを3か月単位でローテートし、専門分野（subspeciality）の臨床に習熟するとともに「患者の全身を診る」という内科医の基本姿勢についても厳しく教育される。さらに3年目には関連病院に出向し、実地臨床の研鑽を積むことが定められている。幸いこの教育システムは、学生や研修医の賛同を得るところとなり、関連病院の確保と相俟って、本学卒業生のみならず、他学出身者も含めた数多くの新入局者を迎えている。

研究分野も診療領域に対応して極めて広い範囲に及んでいる。特に大澤教授が導入された分子生物学は、各専門分野の研究に深く浸透し、研究グループが共同で利用する第一内科の研究

室は、汎用性のある最新の遺伝子、蛋白実験施設として整備されている。国内外への研究留学も活発で、英文原著数も次第に増加しており、その内容も基礎的研究から臨床研究、症例報告まで広汎なものになっている。しかしながら、教室の最大の課題は「良い内科医をつくる」ことにある。いかなる研究も、最終的に診療に寄与するものでなければならない。このような認識は、専門を異にする医局員に共通したものであり、当教室が1つの大きな所帯として成立するための根幹をなすものである。

医療技術の進歩や社会情勢の変遷にともなって、内科の臨床は大きく変貌しつつある。当教室も、より良い診療、教育システムの構築にむけて、さらに多くの努力を重ねていかねばならない段階にある。

（文責：大澤、坂根）



医学の散歩道

最近の医療を考える

哲学教授

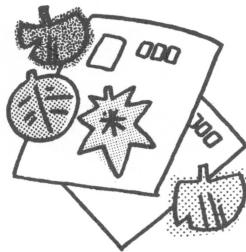
矢次正利

ここでは、現代の医療にみられる問題点を二点とりあげてみたい。その一つは技術進歩の内容に関するものであり、第二は医療技術を支える社会的背景についてである。

一般に、科学的真理の実際上の適用である技術、ならびに医薬品の改良については、これに疑義をもつ人は存在しないだろうと言える。人間社会の繁栄と福祉は、その大半を古代から現代にいたるまでこの技術革新の恩恵に浴してきたからである。だが考えねばならぬことは、技術はそれ自体価値的に中立であって、それが社会に貢献するか否かは、それを利用する側の人々にゆだねられていることである。例えば、不妊治療として開発された生殖医学の場合、AID、IVF、代理出産などでは、家族の成立に当って第三者が介入することにより、社会の基本的な構成秩序が乱される可能性がある。いわゆる、父親とか母親が誰であるか判明しない人工家族の成立である。更に、延命治療に関しても、唯ひたすらに生命の延引をはかることが本来の医療の姿と言えるだろうか。事柄の善し悪しは別として、最近しばしばQ.O.Lという用語が用いられる所以である。人間は所詮、死すべき存

在であることを免れ得ず、人がいかに自らの人生を良く完うするかの手助けをするのが医療者の責務である。いずれにしても、生命の誕生とか終焉をめぐる医療技術の人為的介入は、我々の健全な良識をもって判断されねばなるまい。技術的に可能なことが、必ずしも倫理的に許容されるのではない。

第二は医療上のリベラリズムの問題である。政治上の自由主義思想が先進欧米諸国の貴重な歴史的遺産であることは、これまた疑い得ぬ事実である。その最たるものが人権思想であることは言うまでもない。ところで医療界では、20世紀後半これが患者の権利宣言、いわゆるインフォームド・コンセント、リビングウィル、尊厳死などと具体的に表明されている。欧米諸国の社会・文化的背景では、医療は医師-患者関係を対等の当事者間での合意にもとづく契約行為とみなす傾向が最近では根強い。そこには当然、患者の側の自律性が強く求められており、これには個人の権利の確立が必須条件となる。これに対し文化的土壌の異なる我が国などでは、人間関係を信頼の絆でとらえる伝統がある。権利の主張よりも心と心のつながりを重視する風習である。勿論、最近の欧米でも、医療を消費財とみなす傾向とともに、医療の原点を癒しの業と捉え直す反省が生じていることも事実である。これらのいずれに優劣を決定するかは困難な問題であるが、念頭におくべき事柄かと思案される。



海外出張記

第一解剖学教室 助手

茶谷 薫

学会出席とアフリカにいる霊長類の野外観察のためにマダガスカルとケニア両国に1カ月もの長い期間出張させていただきました。ここではそこで遭遇したことを羅列的に記します。

<ナイロビ国立公園>

両方とも霊長類のみならず、様々な動植物が首都近郊においても観察できる国です。殊に、ケニアのナイロビ国立公園は、動植物が豊かであるにも関わらず、高層ビルが立ち並ぶ首都・ナイロビ市の中心部から車で15分程度の近さに位置していることでも有名です。当公園では、エルニーニョのためか通常よくいるといわれる水場には目当てのサルはおらず殆ど観察できませんでしたが、ガチョウやシマウマ、ガゼル、インパラ、キリンなどは非常に沢山見ることができました。公園に入ったばかりの時は、たった1頭、しかも遠くて動物が点のようにしか見えない状態でも「す、すごい!本物や~」と感動していました。が、しかし、その感動も冷めるのは早く、1時間ほどで慣れてしまい、車の



沢山のサバンナモンキーのコードモたち。トゲの沢山ある藪で遊ぶ

すぐ横2、3mの位置にインパラがいようが、キリンが沢山群れていようが、「ああ、キリンだなあ……」と思う程度になってしまいました。飽きるのが早いには自分でも呆れるほどでした。肉食獣はたったの1頭ライオンを見かけただけでした。「生態的ピラミッドの頂点はやはり少ない」と生物の理論を実地で納得しました。

<治安状況とスワヒリ語>

ところでナイロビは非常に治安が悪いらしく、駐ケニア日本大使館でも恐ろしい事件の顛末を記した注意書が掲示してあったり、「武装車両強盗対策マニュアル」とか「住居の安全対策」

などという簡単なパンフレットが「ご自由にお持ち帰り下さい」コーナーにあったり、という具合でした。このような文書からの情報以外にも、ケニアに来ている研究者達にもかなり怖い話を聞いていたので、すっかり「ビビって」いました。そこで、私は「武装車両強盗対策マニュアル」に載っている「予想される犯人が使うスワヒリ語」欄の「シママ（動くな）」だけは確実かつ迅速に覚えてしまいました。幸いこの知識(?)が役に立つ機会はなく、スワヒリ語は、「ジャンボ（こんにちは)」「アサンテ（ありがとう）」のみを連発するだけです。実は、まともに発することができるのはこの2語しかない状態でしたが。

<こわかったこと>

しかし、こわい目に遭ったことが全く無いかというところではありません。ナイロビ国立公園でのこと。キリンの家族連れ(?)が道を塞いでいました。その時は夕方に近い時間で、早く公園から帰りたくて少し焦っていました。その道を通らなくても帰れるのですが、遠回りになるのでそれは避けられたのです。そこで、「車をキリンに近づければ退いてくれるかもしれない」と車をジワジワ接近させました。しかしキリンは逃げるところか、こちらに近づいて来るではありませんか。「え??？」と思っていると、キリンはフロントガラスに顔を近づけてきたのです。「踏みつぶされたら大変!」と私は慌てて車をバックさせました。キリンは数歩追ってきましたが、それ以上近づくことはなく、私は遠回りして、無事に公園を出ることができました。ところでキリンの顔はとても愛らしいのですが、非常に大きく、車のフロントガラスいっぱいになるほどでした。今でもあの大きな顔を忘れることはできません。



アカシアの木に座っているサバンナモンキーの大人の個体。

第50回西医体

卓球部、男女とも準優勝と健闘

第50回西日本医科学生総合体育大会は福井医科大学を総合主幹校として西日本の44大学が参加して北陸地方を中心に7月26日～8月9日の日程で20種目の競技が行われました。

本学の主な成績は次のとおりです。

総合成績 第13位 (総合得点 240点)

上位成績 準優勝 卓球部 (男子)

卓球部 (女子)

本学の伝統である“文武両道”をモットーに、殆どの学生が各クラブに所属して、勉学の傍ら、日夜汗を流して夏の西医体を目指し、放課後のクラブ活動を盛り上げ、学生生活を充実させております。

残念なことに、今回の西医体では総合成績13位と不本意な結果に終わってしまいましたが、5年生以下の学生は来年こそは一矢報いる気持ちで、ますますクラブ活動に励んでおります。我々は今度こそこの努力が報われ、満足いく結果が得られるものと確信しておりますので、どうか先輩諸氏、教職員の皆様方には、温かい御支援御指導をお願い致します。

また今年度をもってクラブ活動を引退される6年生の皆様、本当にお疲れ様でした。我々の最も身近な先輩として今後どうかよろしくお願ひします。

平成10年度 体育会委員長

山 戸 昌 樹



卓球部男子部員一同

卓球部

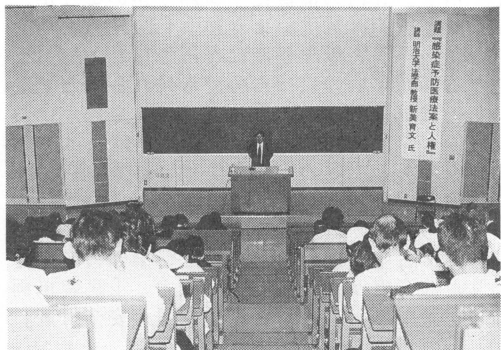
今回の西医体では優勝こそのがしましたが、男子、女子共に準優勝という好成績を残すことが出来ました。来年は優勝できるよう頑張っていきたいと思います。



卓球部女子部員一同

同和教育特別講演会

同和教育に関する特別講義が、9月30日(水)午後2時40分から、『感染症予防医療法案と人権』をテーマに新美育文明治大学法学部教授を講師にお招きし、臨床第一講堂にて開催され、多数の来聴者が熱心に耳を傾けました。



大学祭 '98 「Fragments」

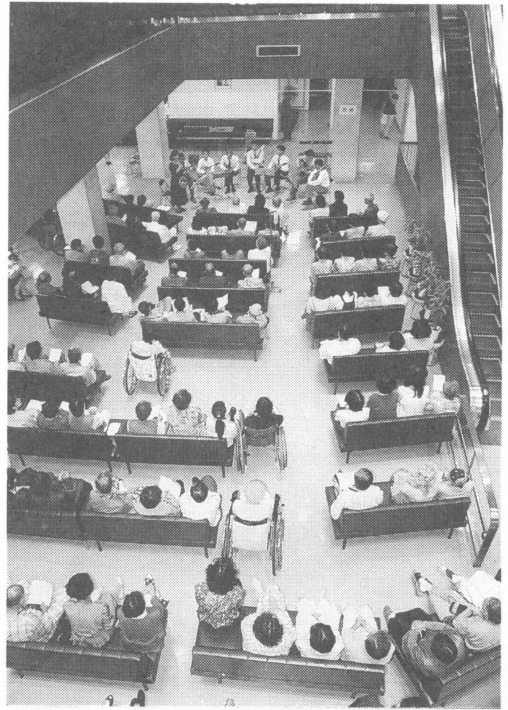
今年は「Fragments」をテーマに10月9日（金）、10日（土）に開催されました。

9日午後5時から高槻現代劇場で行われたFavorite Blue コンサートを皮切りに、さわらぎキャンパスを中心に多彩なイベントが催されました。

附属病院では10日午後2時から外来棟1階ホールにおいてギターマンドリンクラブ、管弦楽同好会、グリークラブが合同でコンサートを行い、入院患者の皆さんをはじめ多数の聴衆が優雅な調べに耳を傾けました。



フリーマーケット



院内コンサート

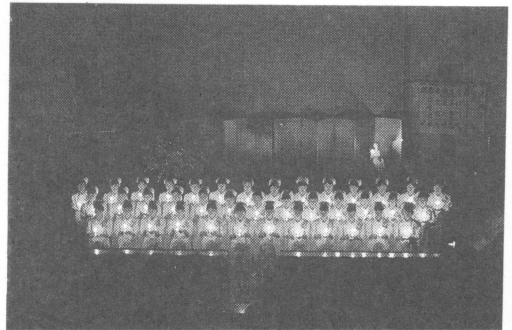


看護専門学校戴帽式

看護専門学校第一看護学科学生39名に対する戴帽式が10月12日（月）午後1時から本学臨床第一講堂において、来賓及び保護者の方々をお迎えし挙行されました。（裏表紙に関連記事）



式辞を述べる東校長



聖灯に映える戴帽生たち

消防避難訓練

10月13日（火）午後2時から、高槻市中消防署と病院自衛消防隊の合同で夜間・休日体制における消防避難訓練が行われました。

当日は附属病院54病棟湯沸室から出火したことを想定して、消防はしご車による救出訓練、救助袋による降下避難訓練等、火災緊急時における患者さんの生命と安全を守るための真剣な訓練が行われました。

また、10月20日（火）午後1時30分から、中央資料館前において消火実務訓練が行われました。参加者らは、一本の消火器の適切な使用により多くの生命が守られることを体感し、初期消火の重要性を認識しました。



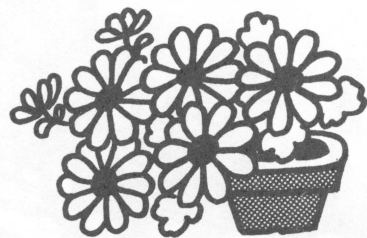
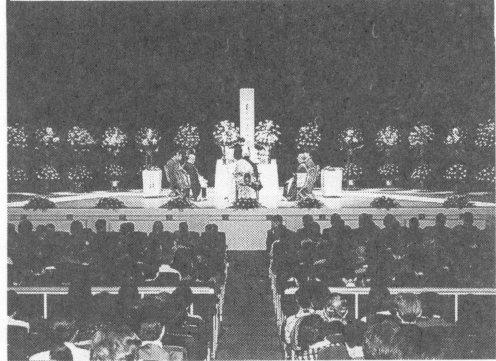
はしご車による救出



消火実務訓練

平成10年度解剖慰霊祭

平成10年度の解剖慰霊祭が、10月17日（土）午後2時から高槻現代劇場において、ご遺族、さつき会会員（生前献体登録者）及び来賓各位約400名をお迎えし、本学役員、教職員並びに学生、看護専門学校生の参列のもと、おごそかに執り行われました。



主要会議とその主な議題

7月16日から11月1日までの主要な会議とその主な議題は次のとおりです。

〔理事会〕

(8月25日)

－審議事項－

1. 大阪医科大学学則の一部改正について

(9月22日) *台風接近により中止

(10月13日)

－審議事項－

1. 学校法人大阪医科大学相談役、顧問、参与の設置に関する規程の一部改正について

〔教授会〕

(7月22日)

1. 人事に関する件(講師の任用他)
2. 学則中の一部改正に関する件
3. 平成11年度入学試験に関する件
4. 保健管理室副室長の委嘱に関する件
5. 保健管理室運営委員の改選に関する件
6. 非常勤講師の改善に関する件
7. バイオハザード実験室管理運営規程中の一
部改正に関する件

8. その他

- 1) 本年度後期試験I, IIの総合判定について

(9月2日)

1. 人事に関する件(客員教授の継続委嘱他)
2. 第6学年仮進級者の前期試験不合格科目の
合否判定に関する件
3. 非常勤講師の改善に関する件
4. バイオハザード実験室管理運営規程中の一
部改正に関する件

(9月16日)

1. 人事に関する件(講師の任用他)

2. その他

- 1) 教授選考について

(10月7日)

1. 人事に関する件(客員教授の継続委嘱他)
2. 教授選考に関する件(眼科学講座担当教授)
3. 学長予定者選考規程改正委員会からの答申
書に関する件

4. その他

- 1) 内科診療科体制検討委員会からの上申書

について

- 2) 機器共同利用センター運営委員会委員の
変更について

(10月21日)

1. 人事に関する件(助教授の任用)
2. 学長予定者選考規程改正委員会からの答申
書に関する件
3. 内科診療科体制検討委員会からの答申書に
関する件
4. 第1学年前期試験における不正行為の取扱
いに関する件
5. 教員人事に関する事項の検討委員会からの
中間答申に関する件
6. その他

- 1) 放射線安全委員会委員の変更について

〔大学院医学研究科委員会〕

(7月22日)

1. 学位論文審査結果に基づく合(可)否決定
に関する件

2. 研究生の願出に関する件

(10月7日)

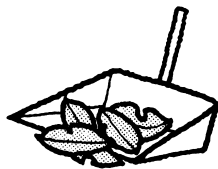
1. 平成11年度大学院医学研究科入学試験要項
(案)に関する件
2. 学位論文受理に関する件
3. 研究生の願出に関する件

主な行事日程表

11月1日から平成11年1月31日までの学内における主要な行事予定は次のとおりです。

- 11月4日(水) 教授会・大学院医学研究科委員会
10日(火) 理事会
11日(水) 医学会秋季学術講演会
12日(木) 看護専門学校推薦入学試験
(第一看護学科・第二看護学科)
18日(水) 教授会・大学院医学研究科委員会
19日(木) 関連病院長会議
28日(土) 理事会
12月2日(水) 教授会・大学院医学研究科委員会
5日(土) 実験動物慰霊祭
8日(火) 理事会
9日(水) 第5学年臨床実習に関するオリ
エンテーション

- 14日（月）学位論文提出のための語学試験
第6学年後期試験Ⅱ（15日まで）
- 16日（水）教授会・大学院医学研究科委員会
- 19日（土）第5学年プレテスト（25日まで）
- 20日（日）看護専門学校冬期休業
（1月7日まで）
- 26日（土）医学部学生冬期休業
- 1月4日（月）年賀交歓会
大学院医学研究科入学願書受付開始
（18日まで）
- 5日（火）医学部及び看護専門学校入学願書
受付開始
（医学部：2月1日まで）
（第一看護学科：1月22日まで）
（第二看護学科：1月14日まで）
- 6日（水）教授会・大学院医学研究科委員会
第5学年診断学実習開始（8日まで）
- 8日（金）第1・2学年授業再開
- 11日（月）第3・4学年授業再開
第5学年臨床実習開始
- 12日（火）理事会
- 13日（水）学位論文受付締切
- 20日（水）教授会・大学院医学研究科委員会
- 25日（月）看護専門学校第二看護学科入学
試験（26日まで）
- 29日（金）第7回教員ワークショップ
（於京都・パレスサイドホテル
31日まで）
- 31日（日）看護専門学校第一看護学科入学
試験



附 属 病 院

平成11年度臨床研修医募集要項

平成11年度本学附属病院の臨床研修医募集要項が下記のとおり決定いたしました。

募 集 要 項

1. 募集人員
全科で100名以内とする
2. 研修科目

第 1 内 科,	第 2 内 科
第 3 内 科,	精 神 神 経 科
一般・消化器外科,	胸 部 外 科
脳 神 経 外 科,	整 形 外 科
小 児 科,	産 婦 人 科
眼 科,	耳 鼻 咽 喉 科
皮 膚 科,	泌 尿 器 科
放 射 線 科,	麻 酔 科
歯科口腔外科,	形 成 外 科

 中央検査部・病態検査室
3. 応募資格
原則として当年施行の医師国家試験合格見込の者および医師免許証を有する者
4. 出願期間
平成10年12月1日(火)から
平成11年1月30日(土)まで
5. 提出書類
(1) 臨床研修医願書

- (2) 履歴書 (JIS日本工業規格使用、上半身の写真を貼付のこと)
- (3) 住民登録票
- (4) 卒業(見込)証明書および推薦書
- (5) 健康診断書
- (6) 国家試験合格証書又は医師免許証(写)
6. 研修方法
平成11年度より、原則としてローテイト方式を採用する予定
7. 選考方法
各科個別におこなう
詳細は、各科より出願者に通知する
8. 臨床研修許可発表
郵送をもって通知する
9. 臨床研修開始予定 平成11年5月1日(土)
なお、臨床研修実施にあたり医師国家試験発表後各科において打ち合わせを行い、平成11年4月27日(火)に全科合同のオリエンテーションを行う予定
10. その他
各科研修プログラムは別にさだめる
詳細についての問合せは下記まで
大阪医科大学附属病院 管理課
TEL (0726) 84-6305 [直通]

平成10年度上半期附属病院患者動態

本年度上半期の患者動態は下記のとおりです。

(平成10年4月～平成10年9月)

	入院患者数	外来患者数	対前年度増減率%	
			入院患者数	外来患者数
H10. 4	(889.2) 26,677	(2,703.7) 62,185	1.04	1.23
H10. 5	(870.5) 26,987	(2,640.5) 58,092	△ 1.88	△ 4.92
H10. 6	(893.3) 26,798	(2,722.5) 62,618	△ 1.26	3.06
H10. 7	(902.1) 27,966	(2,757.7) 66,184	0.76	3.16
H10. 8	(894.6) 27,732	(2,534.5) 60,828	1.78	2.29
H10. 9	(858.5) 25,754	(2,842.5) 62,534	△ 2.69	6.76
合 計	(884.8) 161,914	(2,698.8) 372,441	△ 0.37	1.91

() 内は、1日平均患者数

*平成10年度上半期入院関係稼動日数183日(平成9年度も同)
平成10年度上半期外来関係稼動日数138日(平成9年度139日)

保健管理室からのお知らせ

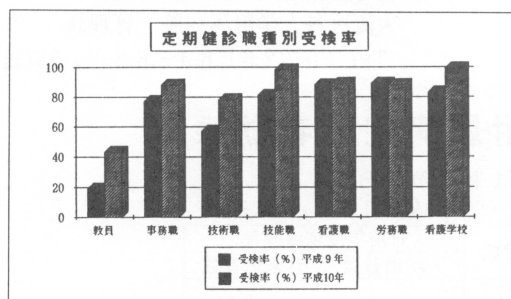
++++ 定期健診・生活習慣病健診受検率85%記録 +++++

(教員受検率 49.4% 昨年 21%)

教職員定期健康診断・生活習慣病健診は9/29(火)～10/9(金)2週間に亘って8日間で実施しました。今年は大判のポスターを掲示し、個人宛に健診のお知らせと血液・検尿容器をセットにして配布し健診日の指定を行い、生活習慣病健診日には昨年と同様AM8時～9時まで計測できるように設定しました。結果以前みられていたトイレの混雑がみられず、長蛇の列が少なくなり特にX線撮影、視力測定等で待ち時間が短縮されました。今年特に目立ったことは教員の受検率が大幅にUPし、例年は74～5%代だった受検率が嬉しいことに85.1%を記録しました。次年度より生活習慣病健診項目の心電図、聴力検査についても検討を加え業務時間内に終わるよう工夫したいと考えています。それから、労働安全衛生規則(労働省令32号)が改正され平成11年1月1日から施行されることになりました。今回の改正の趣旨は特に近年、脳や心臓疾患につながる所見が増加している状況をふまえ、HDLコレステロールと血糖検査(本学は既に実施していた)が追加されました。本学は、中央検査部のご協力を頂いて今年から実施しました。ご自分の結果は如何でしたか? 結果報告については健診終了後2週間以内に通知すべく努力していますので個人票は定期健康診断終了後速やかに保健管理室まで返却して下さい。医療監視などの監視時には必要ですのでまだ返却されていない方は至急返却して下さい。

健診結果については下記の通りです。健診結果報告書の裏面に項目についての説明を載せていますので参照して下さい。

平成10年度定期健診職種別受検率



平成10年度定期健診職種別受検率

職 種	対象者(人)	受検者(人)	受検率(%)
教 員	320	158	49.4
事務職	179	161	89.9
技術職	239	188	78.7
技能職	31	31	100.0
看護職	736	732	99.5
労務職	55	54	98.2
看護学校	18	18	100.0
合 計	1578	1342	85.1

平成10年度生活習慣病健診受検者数(35,40歳以上)25歳は採血のみで()で示す

職 種	対象者数	採 血
教 員	208	109
事務職	87(8)	77(7)
技術職	118(8)	106(6)
技能職	19(1)	17(1)
看護職	219(50)	217(50)
労務職	53	52
看護学校	8	8
合 計	712(67)	586(82.3%)(64)

職 種	対象者数	聴 力	心 電 図
教 員	208	80	91
事務職	79	61	67
技術職	110	83	92
技能職	18	16	17
看護職	169	163	166
労務職	53	49	50
看護学校	8	7	8
合 計	645	459(71.2%)	491(76.1%)

平成10年度定期健診項目別受検者数

職種	対象者数	身長・体重	尿検査	視力	血圧	レントゲン
教員	320	126	135	125	125	115
事務職	179	149	151	148	151	129
技術職	239	157	175	151	159	128
技能職	31	30	30	30	29	31
看護職	736	729	719	731	728	694
労務職	55	52	54	52	52	46
看護学校	18	16	18	16	16	14
合計	1578	1259 (79.8%)	1282 (81.2%)	1253 (79.4%)	1260 (79.8%)	1157 (73.3%)

平成10年度定期健診有所見者数

	受検者	有所見者	有所見率(%)	
血圧	1260	215	17.1	
肝機能	712	48	6.7	
脂質	712	102	14.3	
貧血	712	10	1.4	
腎機能	712	20	2.8	
血糖	712	12	1.7	
尿	蛋白	1282	31	2.4
	糖	1282	1	0.1
	潜血	1282	57	4.4

今年度の定期健康診断で血中脂質（コレステロール等）の有所見率は、14.3%と血圧を除く全検査項目の中で最も高くなっています。

最後に健診時にご協力頂きました、看護部、中央検査部、放射線科をはじめ各部署の方々に大変なご協力を頂き感謝いたします。ありがとうございました。

掲示板

B型肝炎ワクチン接種（3回目）実施

日時 平成10年12月2日（水）午後2時30分～3時30分
平成10年12月3日（木）午後2時30分～3時30分
場所 第10会議室

電離放射線業務従事者健康診断（血液検査）

検査期間 平成10年12月1日～11日

前回までフィルムバッチ着用者全員に検査依頼伝票を配布していましたが、今回より検体ラベル（CBC）（各自でスピッツに貼る）を配布いたしますのでよろしくお願い致します。

お詫びと訂正

前回発行の37号に一部誤りがありましたので、お詫びし訂正致します。

P 6（人事）〔海外渡航〕

玉井 浩（小児科学教授）

ドイツ（ Goslar ） 6.29～6.30 → 7.5


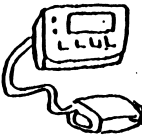





P 10（永年勤続表彰）〔20年勤続教職員〕

外山 幸子（看護部・准看護婦）→ 准看護婦

P 22（高槻署から感謝状）2行目

坂井志穂海さん → 坂井志穂海さん

◎ あなたの健康診断の結果はいかがでしたか。

指摘された事項	日常生活の気配り（自己管理のポイント）
太りすぎ 	食べすぎ、飲みすぎ、間食について見直して下さい。 食事の時間が不規則か、夕食の時間が遅くありませんか。 運動不足ではありませんか。 月に一度は体重を測って下さい。
血圧が高い 	過労を避けて、十分な休養と睡眠を心がけて下さい。 上手に気分転換をし、イライラや緊張感をほぐして下さい。 塩分を控え、薄味になじみましょう。 深酒やたばこを避けましょう。 冬の外出や入浴等の急激な温度の変化に気をつけましょう。
尿に異常 	必ずしも病気ではありませんが精密検査を受けて原因を確かめてみましょう。
肝機能に異常 	太りすぎでませんか、標準体重に近づけましょう。 アルコールを控え、休肝日は週に2日以上設けましょう。 肉、魚、牛乳、大豆製品等の良質の蛋白質を摂りましょう。 脂肪の多い肉類をさげ、ゴマ油等の植物性の油を摂りましょう。 十分な睡眠と食後に30分ぐらい体を横にする
血中脂質が高い 	卵等のコレステロールを多く含む食品は控えましょう。 動物性の脂肪を植物性の油に。(牛肉より魚肉に) 食べ過ぎや飲みすぎを控え、体重のコントロールを。 生活の中に積極的に運動を取り入れましょう。
貧血 	インスタント食品や外食を控え、偏食せず1日3食を心がけましょう。 豚レバー、緑黄色野菜などの鉄分や葉酸、ビタミンを多く含む食品を摂りましょう。 胃、大腸検診、女性は婦人科検診を受けましょう。
心電図に異常 	精密検査を受けて原因を究明し、医師の診察をおこたりなく。煙草は止めましょう。 規則正しい生活をし、ストレス、疲労を溜めないようにしましょう。 歩く等の軽い運動を医師の指示の範囲内で続けましょう。

HDLコレステロールとは（高比重リポ蛋白）

比重の高いリポ蛋白であるHDLコレステロールが、血液中にどれだけ含まれているかを示しています。HDLは血管壁に沈着した余分なコレステロールを回収して肝臓に戻し、動脈硬化を防ぐ働きをします。そのため、HDLコレステロールは、善玉コレステロールとも呼ばれています。

- ・基準値以下の人に考えられる原因
運動不足や喫煙によって低くなる場合があります。
- ・考えられる主な病気
基準値より低い場合には、動脈硬化、高血圧症、糖尿病、虚血性心疾患（狭心症や心筋梗塞）などを起こしやすくなります。

大阪医科大学俳句会(七／八／九月)

霞戸して鰻の寝床風通す	塚本 務人
思ひ出は熱砂踏みだすデートトリツヒ	今井 雄介
大文字死なねば逢へぬ人もあり	古川 洋子
鉾登る女人を拒む階険し	同
文月や効能あやしき浄水器	中川 一成
秋うらら古物市の真空管	同
にごろ鮎けものが先に見つけし温泉	奥田 筆子
サッカーに勝つも革命巴里祭	吉田 孝江
化石象鯨渡りを古琵琶とす	飯塚 久子
桑の実や百三読みし遠き日も	和田 明
稲熟れる近江雀に逢はずけり	山崎 隆司

投句のお誘い

一般の方も投句（何句でも）して下されば、当句会で会員の出句と同じように選句します。入選句は当欄に掲載します。

宛先は

〒569-0084 高槻市沢良木町2-41

大阪医科大学さわらぎキャンパス

俳句会

皆様の参加をお待ちしております。





戴帽を終えて、ナイチンゲール像からの聖灯拝受のとき、あなたたちに新たな希望のともしびが宿る。それは人間の希望の光。今は小さなともしびが、いつか看護婦として病める人々に大きな希望とやすらぎを与えてくれるだろう。人の心は人によってのみ、受け継がれていく。ナイチンゲールの愛が、今あなたたちを照らしている。

大阪医科大学学報 第38号

発行年月 平成10年11月

発行 学校法人 大阪医科大学

編集・発行 総務部庶務課

大阪医科大学ホームページ

<http://www.osaka-med.ac.jp/OFFICE/>